

園長便り

## まなざしの輪

風薫るさわやかな季節となりました。園庭の木々も青々と茂り、子どもたちは初夏の陽射しを浴びて元気に活動しています。新しい生活から1ヶ月が経ち、子どもたちの「やりたい」という意欲や、友達との関わりがより深まってきました。今号では、5月の各学年で見られた、心躍る活動の様子をお伝えします。

### ふたば組【3歳児】動物に変身！

遊戯室では、いろいろな動物になって身体表現を楽しんでいます。木登りをするサルになったり、片腕を真上に伸ばしてつま先立ちで歩くキリンになったりと、思い思いに表現しています。先生と一緒に体操をすることも大好きで、「上（遊戯室）行こっか」と自分から先生を誘う姿も見られ、活動への広がりを感じています。

### つぼみ組【4歳児】みんなで協力

室内遊びの片付けでは、机を2～4人で協力して運び、「こっちなら広くていいよ」と友達に声をかける姿が見られます。次の活動の邪魔にならない場所を自分たちで考え、提案し合っています。自分が思いついたことをするだけでなく、集団の一員として共通の目的に向かう、頼もしい成長の姿が見られています。

### みのり組【5歳児】自然の不思議

年長組として、初めての「ビオトープ研修」に参加しました。園内の自然環境について学び、小さな生き物や植物に直接触れる体験を通して、生命の不思議さや大切さを肌で感じた研修となりました。この経験が、これからの探究心や科学的な芽生え、そして豊かな感性へと繋がっていくことを期待しています。

### 一人一人の育ちを支える

子どもたちが自ら考え、行動し、友達と共感し合う。そんな日々の積み重ねが、子どもたちの確かな自信へと繋がっています。私たちは、それぞれの学年で見せる豊かな表現や意欲的な姿を大切に受け止め、これからも一人一人の歩みに寄り添いながら、共に育ち合っていきたいと考えています。